大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

取り組み

2026年5月7日

＼基礎工学研究科の実験室が「エリオニクス ナノファブステーション」に！／

# 株式会社エリオニクスとネーミングライツ協定を締結

## ❖ 概要

国立大学法人大阪大学（所在：大阪府吹田市、総長：熊ノ郷 淳、以下「大阪大学」）と株式会社エリオニクス（本社：東京都八王子市、代表取締役：菊地 洋介、以下「エリオニクス」）は、大学施設のネーミングライツ（命名権）取得に関する「ネーミングライツに関する協定書」（以下「協定」）を2026年2月25日に締結しました。

このたび、豊中キャンパス大学院基礎工学研究科G棟1階G117-121エマージングサイエンスデザインR3センターナノエレクトロニクス実験室のネーミングライツ公募にエリオニクスが応募し、選定委員会による審査を経て、ネーミングライツ・パートナーに選ばれました。2026年4月から2029年3月まで、同施設の愛称は「エリオニクス ナノファブステーション（ELIONIX Nanofab Station）」となります。大阪大学における学内施設のネーミングライツとしては11件目です。

## ❖ ネーミングライツ導入の背景

大阪大学は、ネーミングライツ制度を2018年8月から導入しています。学内施設に企業名等を「愛称」として付与し、そのサインを設置いただく代わりに対価としてネーミングライツ料を得るこの制度は、大学の将来にわたる新たな財源を確保し、教育研究環境の向上と施設の有効活用を目的としています。企業にとっても、学生に企業名や企業の事業に関心を高めてもらう契機となることから、大学でのネーミングライツ取得は近年増加しています。












本施設にて

(左から)笹川 裕介様(株式会社エリオニクス 西日本営業所長)、奥村 直也様(株式会社エリオニクス 営業部長)、菊地 洋介様(株式会社エリオニクス 代表取締役)、小島 靖彦様(株式会社エリオニクス 執行役員)、関山 明 大阪大学大学院基礎工学研究科長、 浜屋 宏平 同副研究科長、馬越 大 同副研究科長

❖ **「エリオニクス ナノファブステーション(ELIONIX Nanofab Station)」となった基礎工学研究科 G 棟 1 階 G117-121 エマージングサイエンスデザイン R3 センターナノエレクトロニクス実験室について**

基礎工学研究科 G 棟 1 階 G117-121 エマージングサイエンスデザイン R3 センターナノエレクトロニクス実験室は、学生教職員の教育研究、社会人リカレント教育の実習、企業の共同利用など、多くの研究者・技術者に利用されている本格的超微細加工用クリーンルームです。

エリオニクスは 1975 年の創立以来、常に最先端の科学技術の進歩に貢献する装置作りを目指して、ナノテクノロジーの研究開発用装置を世に送り出してきました。2025 年に創立 50 周年を迎え、さらにその幅を広げるべく、挑戦を続けています。

「エリオニクス ナノファブステーション(ELIONIX Nanofab Station)」の開設は、大阪大学基礎工学部・基礎工学研究科の人材育成の方針と、その方針に賛同してユーザーの良きパートナーとして支援を行うエリオニクスの姿勢が合致し、エリオニクスがネーミングライツ公募に応募、選定委員会による審査を経て、ネーミングライツ・パートナーに選ばれたことにより実現しました。これまでもエリオニクスと大阪大学は、電子ビーム描画装置の設置やセミナーなど、様々な面で協力をしてきました。今回の協定を機に、教育研究環境のより一層の充実に取り組むとともに、産学連携をさらに強化します。

❖ 施設概要

【場　所】大阪大学大学院基礎工学研究科 G 棟 1 階 G117-121 エマージングサイエンスデザイン R3 センターナノエレクトロニクス実験室　エリオニクス　ナノファブステーション(ELIONIX Nanofab Station)

【所在地】大阪府豊中市待兼山町 1-3